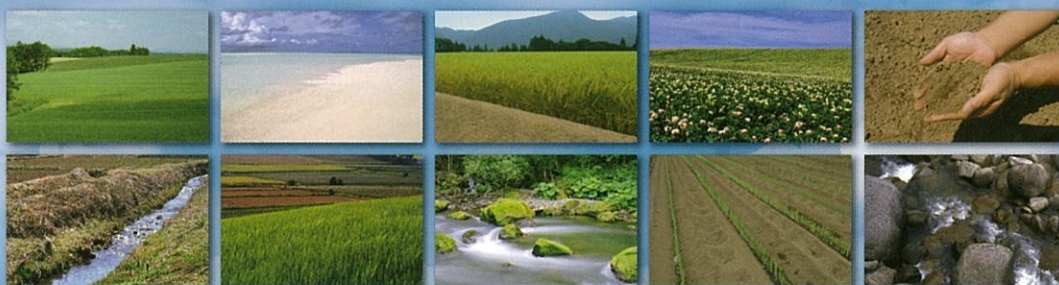


粒状ウレアホルム サンウレア®

環境に優しい 完全生分解性



i サンウレアとは……

尿素とホルムアルデヒドの縮合反応物であるメチレン尿素を主成分とするウレアホルムを粒状化した緩効性窒素質肥料です。

縮合反応



メチレン尿素



更に縮合反応が進んでいくと……

構成割合で緩効度を調節



メチレン尿素は「1メチレン2尿素」「2メチレン3尿素」「3メチレン4尿素」……と縮合が進むにつれて緩効的になっていきます。

ウレアホルムは単一のメチレン尿素からではなく、多種のメチレン尿素からできていて、その構成割合で緩効度を調整しています。

サンウレアは緩効的な肥効のメインとなる「2メチレン3尿素」や「3メチレン4尿素」の割合を高めていますので、長期間にわたり安定した肥効が持続します。

「サンウレア」はサンアグロ株式会社の登録商標です

 **サンアグロ**



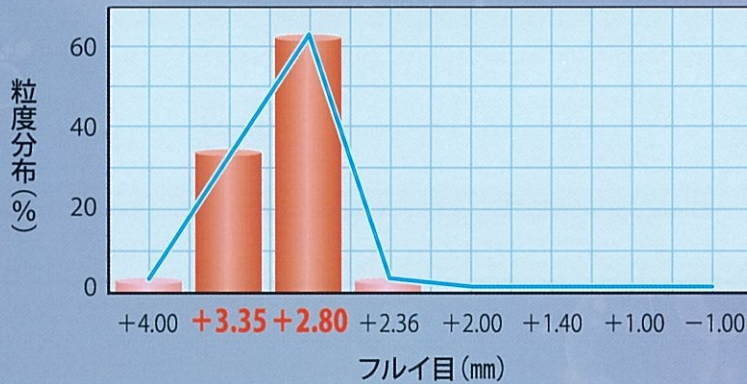
サンウレア®の特長

サンウレアは撒きやすい粒状品です。

●各種施肥機で散布が可能

粒度分布はシャープであり、特に2.8~4.0mmの割合が高くなっています。

【粒度分布分析例】



●BB配合に好適

一定の硬度があり、固結の心配も少ない肥料です。

【物性分析例】

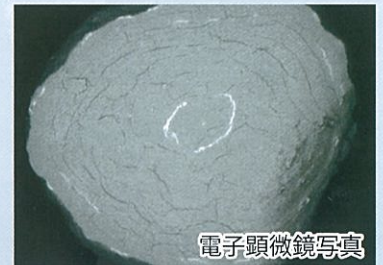
硬度	3.6kgf/粒
嵩比重	0.81g/cm ³
安息角	35° (粒状尿素 35°)
水分含有率	1.85%
固結強度	0.4kgf (粒状尿素 2.5)

※固結強度は数字が大きいくほど固結しやすくなります。

サンウレアは被膜がないので殻が残りません。

●中心部まで均質なウレアホルム

サンウレアは緩効性窒素質肥料のウレアホルムを粒状化した肥料です。
被膜により溶出をコントロールするタイプではありません。



電子顕微鏡写真

●施肥した肥料の経時変化

表層施肥のように吸湿と乾燥を繰り返す条件では、成分の溶出が進むにつれて下の写真のように粒が崩壊し、粒径が小さくなっていきます。水田のように常に水分がある土壌中では湿潤状態となり粒の形が残ることがありますが、肥料成分は徐々に溶出していきます。

【粒崩壊の様子】



サンウレアを不織布製の袋に入れて露地畑の表層へ設置

溶出が進むにつれて崩壊し、最終的にすべてが分解される完全生分解性(殻は残りません)

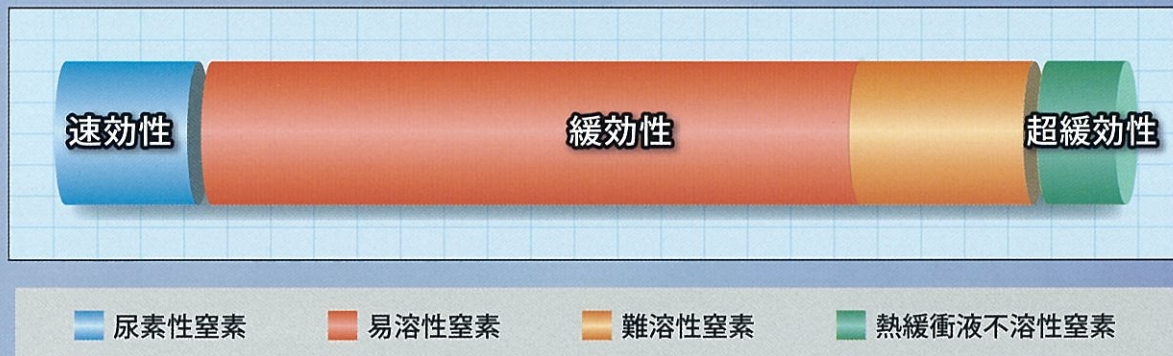
サンウレア[®]の肥効

サンウレアは安定した肥効が持続します。

●効率良く安定した肥効が持続する内容バランス

長期間の安定した肥効を示すように、緩効的な肥効を発現する易溶性窒素と難溶性窒素の割合を多くし、速効的な尿素性窒素と、超緩効的な熱緩衝液不溶性窒素の割合を少なくしています。

【メチレン尿素構成割合】

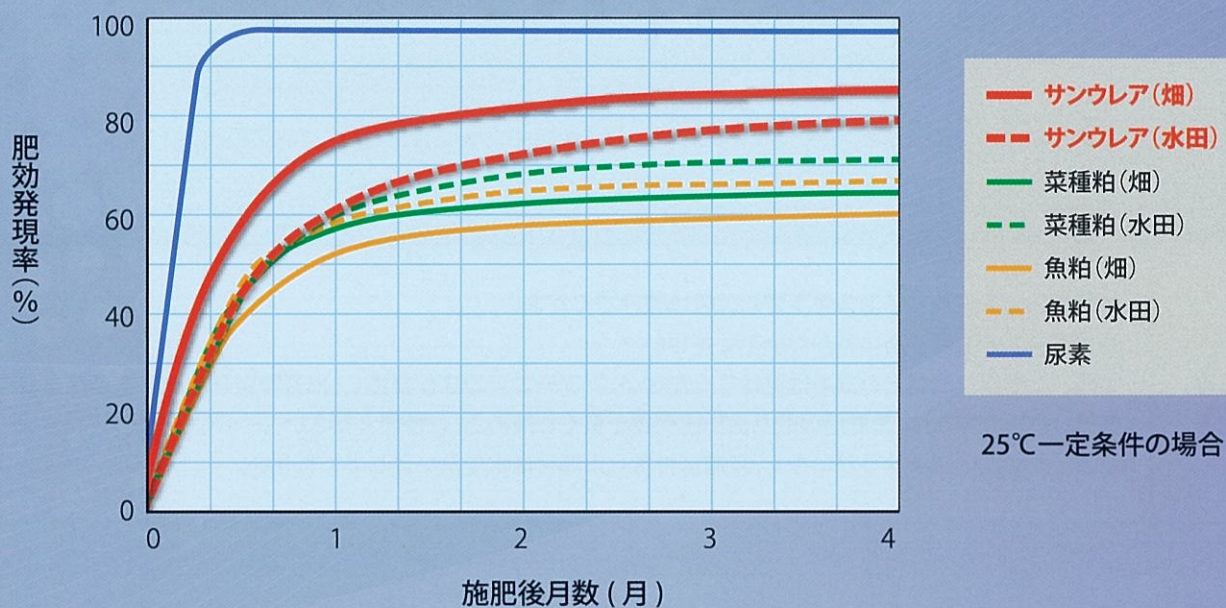


利用効率がが高く、有機質肥料のような肥効を示します。

●作物の栄養吸収にマッチした肥効

サンウレアの構成成分であるメチレン尿素は主に微生物分解により肥効が現れます。植物の生育に適した気温(地温)では微生物の活動も活発になることから早く分解が進み、反対に気温(地温)が低い時はゆっくり分解しますので、作物の栄養吸収にマッチした肥効を示します。

【肥効曲線】



一般的にウレアホルムは水田よりも畑のほうが早く肥効が現れます。また、均質に粒状化したサンウレアは安定した肥効が長期間持続し、作物に効率良く吸収されます。

**サンウレア[®]の製品規格**

窒素全量	40.0%
粒 径	2~4mm 95%以上
尿素性窒素	8.0%以下
外観色	白 色
形 状	粒 状
p H	ほぼ中性
吸湿性	低く、固結しにくい
水中での浮上	なし

粒状ウレアホルム

サンウレア[®]環境に優しい 完全生分解性
緩効性窒素質肥料**注意**

- 直射日光や高温・多湿条件下での保管は避けてください。
- 幼児等の手の届く所に置かないでください。
- 強いアルカリ資材との混用は避けてください。アンモニアガスが発生し、生育障害を起こすことがあります。
- 機械施肥の場合は、施肥機の取り扱い説明書を良くご覧の上、ご使用ください。
- 施肥作業後は洗顔やうがいをし、皮膚に付着した場合は水で洗い流してください。

取 扱